（第3種郵便物認可）　日本教育

地域を支える

PTA　社会教育　民生・児童委員　地方議会

議会質疑 解説 43

農家民泊

千葉・柏市　平成25年6月19日

山下 洋輔議員

家庭だけでは できない体験

高校教師を経て市議会議員を務めている。教育問題はほぼ毎回の一般質問で扱っている。昨年6月は、会派での視察に基づいて、子どもたちが農家に泊まり、農業を体験する「農家民泊」について質問した。

視察した鹿児島県内では、約千軒の農家民泊受け入れの家庭があり、鹿児島市では約100軒が登録されている。受け入れ農家は年々増加している。他県の中学、高校からの申し込みを受けた旅行会社がNPOに受け入れを依頼し、NPOが各自治体に相談し手配していく。

体験した生徒からは、有意義だったという声が多く、再び訪問したいという声も多いとのことである。受け入れ農家には、地域への誇りを取り戻すことができたなどの意義がある。経済的な効果もある。このようなことから、市内での実施について執行部の見解を尋ねた。

修学旅行の「学を修めるという旅」という意味では、ヨーロッパには、貴族が行っていた「グランドツアー」がある。書籍で得た地理、歴史の知識を史跡巡りなどによって実地で学び、文化的な教養を身に付けていったという。庶民の生活を知り、自国での政治に生かしていたという。

日本では、庶民の所得が低かったころ、遠方への旅行ができなかったため、見聞を広めることが修学旅行の大きな目的の一つだったといわれている。現在では、海外を含め遠方へ旅行に行く家庭も多くなってきた。修学旅行費用の捻出が困難な家庭の存在、入試や部活動の大会との兼ね合い、授業時間の確保、旅先での不祥事など、課題は多い。

修学旅行の意義は長年の実績からも認められていってよいだろう。京都で寺社を巡る旅は、各家庭でも可能だろうが、農村の暮らしを体験することは難しい。そこで、農家民泊を柏市の学校で導入することについて提案した。

修学旅行に取り入れては

――修学旅行に農家民泊を取り入れることについて、いかがお考えか。林間学校や校外学習で農業体験を行うことについても、どのようにお考えか。

全校実施は難しい

学校教育部長　全ての学校の宿泊体験学習に農業体験を取り入れることは、各学校に実態や多面的な狙いがあることから難しい。

児童・生徒の農業体験は、生産者の努力や苦労を肌で感じたり、食の安全性について体験を通して学んだりと、大変意義ある学習になると認識している。市内の小・中学校では、社会科や総合的な学習の時間を活用し、農業体験や見学を実施している。

教育委員会としては、受け入れが可能な市内農家の状況について関係部署と情報を共有し、学校からの要請に応えられる体制づくりを今後も図ってまいりたい。

市内でも実施しては

――柏市でも農家民泊事業を行うことについて、どのようにお考えか。市内や近隣の学校から、例えば少年自然の家に宿泊して、あるいは日帰りの校外学習として農業体験などを受け入れていくことについては、いかがお考えか。

地域振興の目玉に

経済産業部長　現在、枝豆やトウモロコシなどの野菜の収穫体験や田植え・稲刈り体験などの取り組みが行われており、事業として定着しつつある。

遠方に出掛けなくても身近な場所でエコツーリズムを体験できる環境がある。多くの子どもたちが農業体験することは、受け入れ農家としても、作付け品目や作付け規模が事前に計画でき安定した収入が見込まれるため、農業経営の安定化や不耕作農地の解消にもつながり、地域の活性化を図ることができる。

農家民泊となると、地元の受け入れ態勢など解決しなければならない課題もある。地域振興の目玉にもなるので、関係者と協議していくとともに、本年度予定している観光計画策定の中でも検討してまいりたい。

（議事録を再構成）

次回は24日付掲載

遊び場 しゃべり場 子どもの世界 21

渡部 達也

心無い仕打ちで不登校に

「先生が『運動会で優勝したら焼肉おごる』って言い出して…あたし、足が遅くてビリだから『M子は帰って』って、みんなに言われ続けて…」

主宰する子どもの居場所「冒険遊び場たごっこパーク」でM子に出会ったのは、彼女が小学5年生の時。中学に上がると、こんなつぶやきを聞く機会が増えた。

運動の苦手な子どもが運動会や縄跳び、水泳等の級認定がきっかけで不登校になった事例を幾つも知る。思慮の欠けた教員の言動と、それに影響された同級生の心無い評価が原因だ。

M子はこんなことも、つぶやいた。「先生が『宿題出してないから部活に参加させない』って言ってきて。結局、親が買ってくれたユニホームも無駄にしちゃって…」

当地の中学校は、部活動が強制加入である。それなのに、教員がこうした言動をすることも子どもたちからたびたび聞く。

つらい出来事が重なり、M子は不登校を選んだ。